

事務局便り3月号

★事業報告★



スピーチコンテストを開催しました!

3月1日(日曜日) サンパール荒川において「第20回外国人による日本語スピーチコンテスト」を開催しました。

初級の部、一般の部あわせて11名の方々が、それぞれの熱い思いや、日本で生活する中での出来事等、バラエティ豊かな素晴らしいスピーチを披露しました。

コンテスト後の「交流のつどい」では、発表者からコンテストに参加してみたの感想をいただき、来場者との交流を深めました。

～入賞者一覧～

優勝	キム ヨンジュン 金 恩正さん	「幸福とは・・・」
準優勝	ホー テイ トウ チャンさん	「日本で学んだこと」
ロータリークラブ賞	チョウ エンゲン 趙 婉言さん	「出会う旅」
ライオンズクラブ賞	リュウ インソプ 柳 寅燮さん	「変化を恐れるな」
審査員特別賞	ドウラン ホルへさん	「外国人の役割」
荒川区国際交流協会賞	ゲレルチュルーン ナモーンゲレルさん	「母国 JAPAN」



【発表直前、緊張の面持ちです】



【優勝者の金恩正さん】



このスピーチコンテストは、国際交流協会のボランティアの皆様、北豊島学園のボランティアの皆様のご協力と、東京荒川ライオンズクラブ、東京荒川西ライオンズクラブ、東京荒川ロータリークラブ、東京リバーサイドロータリークラブのご協賛を頂いて運営しています。

○ホームビジット報告～ウィーンの芸術家が、荒川区で日本の家庭生活を体験しました～
ホームビジットとは、外国の方が1日や半日単位で日本の家庭を訪問し、生活文化を体験する気軽な国際交流です。2月に来日したウィーンの芸術家2名が、区内の家庭を訪問しました。
受入家庭の岡田様から、ご感想をいただきましたので、ご紹介します。

交流の内容を教えてください

スーパーマーケットを訪れ、日本の食材、調味料などの説明をしました。また、書道で、お二人の好きな言葉を日本語で書いていただきました。



ホームビジットのご感想、体験談をお願いします

ベルナデッテさん、アンナさんは写真や映像芸術の分野でご活躍しています。



今回初めてホームビジット受入れを経験しました。私自身、学生時代留学していたこともあったので、ホームビジットという形で国際交流が出来たこと、とても嬉しく思っております。スーパーに行き、日本の食材や調味料の説明をし、お二人の日本食に対する関心の高さ、特に魚介類に関しては、オーストリアは陸に囲まれた国土のため、日本のようにたくさんの種類の魚を身近で簡単に手に入れることが出来ないと知り、改めて自国日本の食材の豊かさを実感しました。

また、日本の文化の一つ書道を実際に体験していただきました。日本語のもつ3つの文字「ひらがな」「カナカナ」「漢字」それぞれのもつバランスやストロークの難しさに苦戦しながらも、一文字一文字丁寧に書き楽しんでいただきました。今回の交流を通して、互いの国を紹介し合うことで、他国の文化を知ると共に、自国の文化も改めて学ぶことが出来る良い機会であったと感じております。

今後の事業予定

留学生に寄付する生活用品を募集します

区内にある日本語学校では、4月に新入生を迎えます。会員の皆さまやお知り合いのお宅で、ご寄付をいただける用品がありましたら、ご協力をお願いします。

【募集用品】

タオル、シーツ、石けん、洗剤、食器類など（大型家電製品、衣類は不可）

タオルなど布製品は未使用、食器類は新品または新品同様のものをご提供ください。



【物品受付期間・場所】

4月24日（金曜日）までに、協会事務局（区役所3階1番窓口）へお持ちください。

「事務局だより」をe-mailで配信します！ぜひ、ご利用ください！

メール配信の方には、事務局便りだけでなく、オーストリア観光局や東京都国際交流委員会メールマガジンの配信など、国際交流に関する様々な情報を提供しております。是非ご利用ください。

e-mail:bunka@city.arakawa.tokyo.jp